

第32回糸東会関東大会 競技規定・申し合わせ事項

(公財) 全日本空手道連盟空手競技規定並びに第32回糸東会関東選手権大会
申し合わせ事項にて行なう

糸東会競技規定

- *選手の道着は全日本空手道連盟競技規定に従う(コート長判断で失格もありえる)
- *選手は自分の赤帯・青帯を使用すること(赤紐・青紐は認めない)
- *ゼッケンは全周しっかりと縫い付ける(両面テープ等、安全ピン禁止)
- *審判員は必要以上に、選手と会話をしない様に心掛ける
- *アリーナ内での撮影は禁止です(写真、動画撮影は観客席から行う)
- *各都県、監督1名・コーチ5名までとする(IDが見える様に首にさげる)
(監督・コーチの服装は空手着とし、基本選手と同じ基準とする:シューズは禁止)

形競技

- ① 演武形 糸東会で制定された平安形・指定形・得意形のみ
 別紙の通り(第32回糸東会関東大会 指定形・得意形)
 - ② 競技方法 予選から決勝ラウンドまで全てフラッグ方式
 予選から準決勝及び3位決定戦は、2名同時演武とする
 決勝戦は各種目共、1名ずつ演武とする
- ※選手の試合時におけるマスク着用は、選手の任意とする
- ※入場は斜め入場で、演武終了後コート後ろに下がり判定を受ける。
- ※小学2年生以下は、コート内での礼を忘れても指導に留め、違反とはしない
- ※審判員5名はコート前側に主審、四方に副審で着座とする
- ※主審は笛の合図で演武開始、『判定』の発生と笛の合図、勝者のコールを行う

組手競技

- ① 競技時間
 - 小学生 1分間のフルタイム
 - 中学生以上 1分30秒のフルタイム
 - 団体組手 1分間のフルタイム

② 勝 敗

小学生以下 6 ポイント差, 又は終了時に得点の多い方

中学生以上 8 ポイント差, 又は時間終了時に得点の多い方

③ 競技方法

個人戦トーナメント方式とする

3 位決定戦は行う

各県対抗団体戦に於いて、初戦は勝敗が決まっても先鋒から大将戦まで行う
(代表戦は先、次、中、副、大、各カテゴリーをくじ引きで決定する)

④ 成年の部/ 35 歳以上の部

体重は無差別級とする 各種目参加人数の制限は無し

※成年女子 (少年女子でも参加可)

⑤ 安 全 具

- ・ニューメンホー全員着用 (バージョン 6 以上) マウスシールドは任意
- ・拳サポーター全員着用 (親指の有る物を使用の事)
 - 小学生 赤・青のリバーシブルの拳サポーター
もしくは赤・青の拳サポーター
 - 中学生 全空連検定品の赤・青の拳サポーター
 - 少年男女 高体連指定・全空連検定品の赤・青の拳サポーター
 - 成年/35歳以上 (男女) 全空連検定品の赤・青の拳サポーター
- ・胴プロテクター 原則全員着用 (空手衣の中に着用) とする。
- ・セーフティーカップ 男子全員 (小学 2 年生以下は監督判断により任意)
- ・インステップ、シンガード 全選手必着 (高体連指定・全空連検定品・WKF 指定品のもので、赤・青もしくは白のもの。赤色・青色については識別コーナーにあわせて装着のこと。

※小学生の組手競技規定の取扱い

- ・上段部位へのコンタクトは、軽微であっても原則的に罰則が科せられる
- ・足払い又はその他のテイクダウン (引き落とし、投げも含む) の技は禁止